

資 料

小川正孝及び小川家資料目録 山口コレクション

久松 洋二 *

OGAWA Masataka and His Family Materials Catalog, YAMAGUCHI Collection

HISAMATSU Yoji

Abstract : This is a catalog of donated materials to Ehime Prefectural Science Museum by the family of OGAWA Masataka, a chemist in the Meiji period in Japan. Most of OGAWA Masataka's materials were his research-related, so in order to verify his life, we had to rely on records written by people close to OGAWA. The real materials donated this time on OGAWA Masataka and his family also includes evidence materials of the records so far. We expect that the materials will play a very important role in OGAWA research, but detail of this will be reported later.

キーワード : 小川正孝, 小川正弘, 小川右門, ニッポニウム, 寄贈, 資料, 目録

Key words : OGAWA Masataka, OGAWA Masahiro, OGAWA Umon, Nipponium, Donation, Materials, Catalog

はじめに

明治から昭和初期まで活躍した愛媛県出身の化学者小川正孝^{1,2)}は、1904(明治37)年に機会を得たイギリスへの国費留学の際にアジア人初の新元素を発見し、帰国後の1908(明治41)年に予備的ノートとして新元素ニッポニウムの発見を発表した^{3,4)}。小川はその後、生涯をかけてニッポニウムの実在を証明すべく研究人生を送るが、確証を公表できぬまま他界する。小川の死後、ニッポニウムは幻の元素として扱われたが、1996(平成8)年、東北大学名誉教授の吉原賢二によって小川の研究の正当性が検証され、ニッポニウムは75番元素レニウムであると判明した⁵⁻⁷⁾。現在では、小川正孝はレニウムの先駆的発見により、アジア人初の新元素発見者として評価されている。

小川正孝は、松山藩士小川正弘の長男として1865(元治2)年正月に江戸芝三田の松山藩中屋敷で生まれた。一家は明治維新とともに松山市での生活が始まるが、1873(明治6)年、正孝が8歳の時、父正弘が他界する。その後正孝は勉学に励み、松山の学校から東京の学校へと移り、その後帝国大学へ入学する。一時、静岡県尋常中学校の教員になるも、研究の夢が捨てきれず、教職を捨て帝国大学の無給の副手となり、研究業績が認められて第一高等学校教授の職を手に入れ、国費留学の機会を得ることになる。帰国後、東京師範学校の教授となり、

学位を取得し、新設される東北帝国大学理科大学の学長として仙台に赴任する。東北帝国大学では第4代総長になり、大学の発展に尽力するかたわら実験もし続ける名物総長でもあった。総長を辞して大学を退官した後も講師として大学に残り実験を続けた。最晩年には日本化学会会長に就任⁸⁾し、仙台の地で初の日本化学会年会の開催を成功させた。実験中に倒れ、帰らぬ人となるまで生涯、化学実験に打ち込んだ研究者だった。

2019(令和元)年になって、小川正孝ご遺族の厚意により小川正孝とその家族に関する資料が愛媛県総合科学博物館に寄贈された。これまで小川正孝の生涯は大学等に残る記録や遺族の証言が元になって綴られていた。寄贈された資料は、それら証言や記録の根拠となるものも多く含まれている。寄贈者は小川正孝の孫にあたる山口雪子氏と配偶者の山口幸夫氏である。特に山口幸夫氏は小川の弟子である青山新一のひ孫弟子にあたる奇縁もあって、小川正孝に高い関心を持ち、これまでも独自に小川正孝の調査をされていた。今回、当館の小川正孝にかかる調査研究、資料収集活動に御賛同いただけることとなり、山口家保管の小川正孝及び小川家に遺っていた資料を寄贈いただくことができた。

本稿は、当館に寄贈された小川正孝及び小川家の資料について、内容を概観し目録として報告するものである。寄贈資料は小川正孝の人生を顕彰する重要な資料になると期待されるが、それら詳細は調査の上、別の機会に報

* 愛媛県総合科学博物館 学芸課 科学・産業研究グループ
Curatorial Division, Ehime Prefectural Science Museum

告する予定である。

資料の概要

本資料は、次の八つに分類される資料群である。

写真、図書及びノート、美術品、小川正孝への辞令等公的文書、小川正孝への手紙等通信物、小川家家計簿等記録、小川家の文書や私信、江戸時代の書物等資料。

写真

今まで知られていた小川正孝の写真の大半は東北帝国大学時代のものだった。本資料には小川の東京予備門時代の写真があり、現在知られている写真の中では最も若い姿を収めたものとなった（写真1）。小川の学生時代の住居には不明な点が多かったが、今回の資料により、東京予備門時代は寄宿舎に住んでいたことが分かった。小川は東京予備門を1885（明治18）年7月卒業後、東京大学理学部に進学する⁹⁾。東京大学法文理三学部は神田区一橋の東京予備門と同じ敷地に設置されていたが、1884（明治17）年に法文学部が、理学部は翌年の小川の予備門卒業と同時に本郷の広い敷地へ移転した。理学部の移転と同時に寄宿舎は廃止され、1886（明治19）年の帝国大学設立に伴う本郷寄宿舎完成まで、全員が通学生となる措置が取られた。小川もこの移転と同時に小石川の親戚宅に転居したと考えられる。

東北化学同窓会報第8号小川正孝先生追悼号に掲載¹⁰⁾された小川の帝国大学時代の写真の原版（写真2）も本資料から見つかった。写真の裏面から明治22年3月1日に東京で写され、松山の叔母萬寿に贈られたものであることも分かった。この他、母嘉、妻組緒の写真、小川の子供達の幼少期の写真、正孝の松山在住の親戚、組緒の兄弟や親戚といった、今まで知られていなかった貴重な写真が含まれていた。

図書及びノート

小川が執筆した中学化学及び中学理化学の教科書2冊と講義ノート¹¹⁾、学生時代に購入した物理学の教科書も資料に含まれていた。小川の講義ノートは五年生を対象とした物理学の講義用ノートで、1894（明治27）年4月から使用するよう書かれている。小川が教鞭をとった静岡県尋常中学校は最高学年の第一級五年生に物理学を教えていた。1887（明治20）年に制定された規則¹²⁾では週3時間ずつ物理学と動植物を理科の教科として提供していたが、1894（明治27）年に規則が改定¹³⁾し、五年生の理科は物理と博物のあわせて週4時間となり、内容を見直す必要が生じた。本資料はその新カリキュラム用に準備したノートだと考えられる。小川の講義ノートは今まで生徒による筆記の講義ノート2冊のみだった

ので、小川本人による直筆ノートは大変貴重な資料といえる。

上述の教科書はマクスウェルの「熱理論」という世界的に有名な教科書で、「明治廿四年九月廿九日第五日曜日広尾目黒ヨリ鮫津品川ヲ経テ散歩ノ帰途購入」と書かれ、本の見返しには東京日本橋三丁目丸善と購入した書店のシールが貼られていた。1891（明治24）年9月は小川正孝が大学院に進学して初めての学期となる。当時小川は小石川区、現在の地下鉄白山駅付近に居住していた⁹⁾から、休日に30kmほどの行程の「散歩」をしていたことになる。この教科書は比較的数式に頼らず書かれてはいるが当時最新の物理理論まで書かれた本でもある。化学でも使う熱の理論の教科書購入は小川の研究への意欲を感じさせる。

小川への辞令、通信物、美術品

小川正孝の松山時代の資料は愛媛においてほぼ残っていない状態で、当時の松山中学校の成績表などごく少数の資料に小川の名前を見つけるのみであったが、今回、辞令等公的文書の中に松山での小学校、中学校の卒業証書等が見つかった。静岡教員時代の辞令も多数見つかり、今まで詳しく知られていなかった二つの時期を教える資料となった。同様に、小川正孝への手紙や小川家の家計簿等記録には、松山から上京して静岡で教員を行った時代の生活を知るための貴重な資料が含まれている。今後これらの時代の詳細を明らかにする資料になると期待される。また、美術品は以前に紹介した内藤鳴雪から贈られた俳画¹⁴⁾である。

小川家に遺る資料

資料には小川正孝の父母、先祖の資料も含まれていた。父正弘（1836-1873）が明治維新に松山へ戻った際に作成されたとみられる家族構成等を記した文書、二弦の名手であった母嘉の歌に関係する資料などが含まれる。また、江戸時代の学習に使われたとみられる教科書、自習に使ったノート、小川正孝の祖父小川右門（?-1850）の署名がある兵法の書物やそれより前の時代と思われる書物も含まれていた。

凡 例

- 1 記載項目は資料名、資料年代、サイズ、分類の順である。
- 2 サイズの単位は特に記載のない場合はミリメートルである。
- 3 掲載順は写真、図書及びノート、美術品、小川正孝への辞令等公的文書、小川正孝への手紙や感謝状、小川家家計簿等記録、小川家の文書や私信、江戸時代の

書物とした。

目 録

(山口コレクション目録)

謝 辞

本目録を作成するにあたり、小川正孝氏のご遺族、山口雪子様、山口幸夫様には貴重な資料をご寄贈いただき、改めて感謝申し上げます。また、資料の翻刻に際して、愛媛県歴史文化博物館の平井誠学芸員には貴重なご助言をいただくとともに当館の星加智美職員には資料の整理等で大変お世話になりました。ここに感謝の意を表します。

参考文献

- 1) 吉原賢二 化学に魅せられた日本人. 岩波書店, 2001, p.6-46.
- 2) 水関秀雄 “小川正孝の事績と紹介”. 松山大学創立 80 周年記念論文集編集委員会. 松山大学, 2004, p.485-517.
- 3) OGAWA, Masataka “Preliminary note on a new element in thorianite”. Chem. News. 1908, vol.98, p.249-251.
- 4) OGAWA, Masataka “Preliminary note on a new element allied to molybdenum”. Chem. News. 1908, vol.98, p.261-264.
- 5) YOSHIHARA, H. K. Nipponium, the Element Ascribable to Rhenium from the Modern Chemical Viewpoint. Radiochimica Acta. 1997, vol.77, no.9, p.9-13.
- 6) YOSHIHARA, H. K. Discovery of a new element ‘nipponium’: re-evaluation of pioneering works of Masataka Ogawa and his son Eijiro Ogawa. Spectrochimica Acta Part B Atomic Spectroscopy, 59, 2004, p.1305-1310.
- 7) YOSHIHARA, H. K. Nipponium as a new element (Z=75) separated by the Japanese chemist, Masataka Ogawa: a scientific and science historical re-evaluation. Proceedings of the Japanese Academy, Series B, 84, 2008, p.232-244.
- 8) 日本化学会 “記事 第五十二年会”. 日本化学会誌. 第五十一巻, p.323-334.
- 9) 久松洋二 書生時代の小川正孝. 愛媛県総合科学博物館研究報告. 2018, 第 23 号, p.1-34.
- 10) 東北化学同窓会報 第八号 小川正孝先生追悼号. 東北化学同窓会, 1930, 口絵写真.
- 11) 久松洋二 静岡県尋常中学校における小川正孝の物

理学講義. 愛媛県総合科学博物館研究報告. 2020, 第 25 号, p.65-79.

- 12) 静岡県告示第六十二号 明治二十年七月二十三日 “静岡県尋常中学校規則”. 佐野城東郡役所編 現行静岡県令達類纂上巻. 1889, p.393-404.
- 13) 静岡県明治二十七年七月十五日 告示第五十六号 “静岡県尋常中学校規則の改正”. 静岡県教育新誌 第三十号. 静岡県教育新誌社, 1895, p.18.
- 14) 久松洋二 小川正孝関連資料報告 愛媛県にゆかりのある資料 2 点. 愛媛県総合科学博物館研究報告. 2019, 第 24 号, p.5-9.

山口コレクション目録

番号	資料名	資料年月日	サイズ [mm]	分類	備考
1	小川嘉 上半身		W90 H135	写真	
2	小川嘉ともう一名（不明）		W94 H140	写真	
3	大館尚 上半身（宮司装束） 芝新橋	1891.1.2	W65 H104	写真	
4	大館群子 上半身（和装） 東京一番町	1893	W66 H108	写真	
5	大館群子 上半身（洋装） 東京一番町	1901.1.2	W63 H110	写真	
6	小川正孝 東京予備門寄宿舍集合写真（8名）	1884.6.22	W165 H108	写真	
7	小川正孝 上半身（白スーツ） 松山三番町		W63 H105	写真	
8	小川正孝 上半身（白制服） 下谷	1887.7	W63 H107	写真	
9	小川正孝 上半身（制服） 松山伯母当て 芝新橋	1889.3.1	W68 H107	写真	
10	小川組緒 上半身（和装） 芝新橋		W68 H109	写真	
11	大館尚氏家と小川 芝新橋		W165 H109	写真	
12	大館組緒 着座 神楽坂		W67 H109	写真	
13	小川正孝 大礼服 神楽坂		W120 H180	写真	
14	小川家族（正孝、組緒、嘉）傘で屋外撮影 静岡		W220 H172	写真	
15	小川正孝（和装帽子）ほか2名 台紙なし		W96 H140	写真	
16	小川新太郎 幼少（新太郎、正孝、ほか1名） 松山		W157 H233	写真	
17	小川従姉妹集合（正孝、信、叔母、従姉妹）6名 松山		W265 H167	写真	
18	小川英次郎 学生服 仙台		W99 H108	写真	
19	小川三郎 和装		W70 H102	写真	
20	小川四郎（少年期友人3人と）		W67 H70	写真	
21	小川親戚（たき、新太郎、桐野）5名 松山		W275 H207	写真	
22	小川組緒姉妹3名 小石川		W138 H200	写真	
23	小川子供達（信、新太郎、伊佐）北品川	1905.4	W98 H140	写真	
24	小川てる子		W60 H38	写真	
25	小川娘2人（信、伊佐）小石川		W85 H125	写真	
26	小川組緒 着座半身 小石川		W88 H130	写真	
27	小川組緒 上半身 仙台		W100 H146	写真	
28	大館組緒 着座 麻布		W64 H108	写真	
29	大館組緒 着座 静岡		W65 H107	写真	
30	小川親子（組緒、信）誕生記念	1894	W66 H106	写真	
31	大館源太郎 上半身（洋装） 長崎	1895.9	W64 H107	写真	
32	大館源太郎家族写真4人 佐世保	1906.1	W147 H200	写真	
33	大館源太郎 上半身 オーストリア	1898.2	W105 H163	写真	
34	大館源太郎 半身（軍服）	1907.11.3	W120 H175	写真	
35	大館治氏 佐世保	1907.1	W88 H130	写真	
36	大館源太郎家族5人 佐世保	1909.1	W198 H145	写真	
37	福島縫次郎 上半身	1891	W65 H105	写真	
38	福島縫次郎家族 東京		W107 H165	写真	
39	福島縫次郎 学生服1 麻布	1896.1	W65 H107	写真	
40	福島縫次郎 学生服2 芝新橋		W67 H109	写真	
41	福島縫次郎 学生服3 芝新橋		W65 H107	写真	
42	福島縫次郎 壮年		W131 H190	写真	
43	山澄家族写真8人 芝新橋	1908.4	W305 H218	写真	
44	山澄安佐子 上半身（和装） 新橋	1893	W65 H104	写真	
45	山澄安佐子 上半身 芝神田		W65 H106	写真	
46	山澄忠三郎 芝白金	1902	W103 H130	写真	
47	水谷まち夫婦 芝新橋		W107 H165	写真	
48	水谷まち家族4人 芝新橋		W130 H182	写真	
49	水谷まち 上半身（和装） 芝新橋	1899.11.3	W65 H107	写真	
50	水谷まち 上半身（和装） 呉	1904.1	W112 H150	写真	
51	水谷まち子供達3人 呉	1903.7	W102 H143	写真	

番号	資料名	資料年月日	サイズ [mm]	分類	備考
52	水谷九郎 生後 50 日	1905.8	W90 H130	写真	
53	水谷まち一家 8 人		W275 H215	写真	
54	西原義任 送別集合写真 12 人 神田淡路町	1887	W280 H235	写真	
55	東北帝大卒業式 仙台		W435 H362	写真	
56	東北帝大 T11 法文学部設置記念	1922	W420 H350	写真	
57	東北帝大 M44 理科大学学術講演会 集合写真	1911.8.26	W425 H345	写真	
58	東北帝大 T2 第 1 回物理化学実験指導会 集合写真	1913.8.9	W442 H367	写真	
59	結婚式写真 仙台		W415 H330	写真	
60	東北帝大 T3 第 1 回化学教室卒業写真	1914.7	W430 H345	写真	
61	東北帝大 T15 化学教室卒業写真	1925.7	W420 H344	写真	
62	根岸子供 記念写真	1904.11	W125 H162	写真	
63	八星チエ 結婚写真	1925.12.5	W153 H245	写真	
64	理学士小川正孝編化学中教科書 第 3 版	1902.2.8	W150 H220 D13	書籍	
65	小川正孝編新体化学教科書	1908.11.25	W160 H230 D15	書籍	
66	THEORY OF HEAT. J.CLERK MAXWELL, M.A.1888	1889.9.29	W125 H180 D30	書籍	
67	静岡中学五年生授業用 力学草稿	1894	W175 H250 D9	冊子	小川直筆ノート
68	別刷 preparation of sulphamide from ammonium amidosulphite.	1902	W140 H215	冊子	ダイバースとの共著論文の別刷
69	掛け軸 内藤鳴雪俳画	1924	W395 H785 (W457 H1727)	俳画	
70	巽学校小学十級免許	1874.7	W340 H240	証書	
71	巽学校小学八級卒業証書	1875.3.28	W240 H180	証書	
72	巽学校小学七級卒業証書	1875.6.12	W240 H182	証書	
73	巽学校小学六級卒業証書	1875.9.28	W210 H162	証書	
74	巽学校小学五級卒業証書	1875.12.24	W210 H160	証書	
75	勝山学校下等四級卒業証書	1876.3.31	W247 H180	証書	
76	勝山学校下等二級卒業証書	1877.3.15	W245 H180	証書	
77	勝山学校大試験優等賞書	1877.3	W253 H178	証書	
78	勝山学校下等一級卒業証書	1877.9.15	W247 H180	証書	
79	勝山学校八級卒業証書	1877.12.3	W245 H179	証書	
80	勝山学校八級試験最優秀賞書	1877.12.3	W520 H193	証書	
81	勝山学校七級卒業証書	1878.3.11	W247 H180	証書	
82	勝山学校七級試験優等賞書	1878.3.11	W490 H180	証書	
83	勝山学校上等六級卒業証書	1878.9.19	W247 H179	証書	
84	勝山学校上等五級試験優等賞書	1878.10.21	W490 H180	証書	
85	松山中学甲科十級卒業証書	1879.7.15	W350 H237	証書	
86	松山中学甲科十級大試験優秀賞書	1879.7.15	W540 H196	証書	
87	松山中学六級学力優等賞書	1880.4.1	W420 H173	証書	
88	松山中学六級卒業証書	1880.7.24	W337 H240	証書	
89	松山中学五級卒業証書	1881.2.16	W340 H232	証書	
90	松山中学五級大試験優秀賞書	1881.2.26	W522 H199	証書	
91	帝国大学大学院入学許可証	1889.7.10	W310 H230	証書	
92	大学院指導教官決定書	1889.7.10	W310 H230	証書	
93	静岡県尋常中学校教諭任命辞令	1890.6.2	W305 H227	辞令	
94	静岡県給与決定辞令	1890.6.2	W285 H216	辞令	
95	地方衛生委員任命書	1890.7.10	W262 H197	辞令	
96	静岡県勤勉手当 M24	1891.12.22	W260 H196	辞令	
97	静岡県勤勉手当 M25	1892.12.21	W265 H197	辞令	
98	静岡県勤勉手当 M26	1893.12.23	W262 H192	辞令	
99	静岡県勤勉手当 M27	1894.12.20	W260 H194	辞令	
100	奏任待遇辞令	1894.5.16	W310 H231	辞令	
101	静岡県給与辞令奏任待遇	1894.5.16	W310 H228	辞令	
102	衛生試験事項取調嘱託状	1894.9.18	W310 H228	辞令	

番号	資料名	資料年月日	サイズ [mm]	分類	備考
103	栃木県出張命令書	1896.3.18	W310 H228	辞令	
104	静岡県尋常中学校教諭免職辞令	1896.8.25	W310 H228	辞令	
105	理科大学副手嘱託辞令	1896.9.14	W200 H280	辞令	
106	第一高等学校教授任命書	1899.9.20	W308 H227	辞令	
107	高等官六等辞令	1899.9.20	W310 H230	辞令	
108	俸給八級辞令	1899.9.20	W310 H228	辞令	
109	官位叙正七位辞令	1899.11.20	W310 H228	辞令	
110	俸給七級辞令	1901.9.13	W310 H228	辞令	
111	高等官五等昇進辞令	1901.12.3	W310 H228	辞令	
112	官位叙従六位辞令	1902.3.31	W310 H228	辞令	
113	第二臨時教員養成所嘱託状	1902.4.23	W312 H234	辞令	
114	高等師範学校教授任命辞令	1906.9.15	W310 H228	辞令	
115	俸給七級辞令	1906.9.15	W202 H278	辞令	
116	官位叙正六位辞令	1906.11.20	W310 H228	辞令	
117	高等官三等辞令	1908.10.27	W308 H230	辞令	
118	官位叙従五位辞令	1909.2.10	W308 H228	辞令	
119	叙勲六等授瑞寶章	1909.6.28	W310 H228	辞令	
120	東北帝国大学理科大学教授兼任辞令	1911.2.22	W308 H228	辞令	
121	東北帝国大学理科大学教授年俸辞令	1911.4.25	W202 H182	辞令	
122	高等官二等辞令	1911.5.17	W308 H228	辞令	
123	官位叙正五位辞令	1911.7.31	W310 H228	辞令	
124	文部省勤勉手当 M45	1912.3.28	W201 H281	辞令	
125	叙勲五等授瑞宝章	1912.6.27	W310 H228	辞令	
126	官位叙従三位辞令	1926.11.1	W310 H228	辞令	
127	特旨位一級被進	1928.7.2	W310 H230	辞令	
128	官位叙正三位辞令	1928.7.2	W308 H228	辞令	
129	授旭日重光章	1930.7.11	W308 H228	辞令	
130	東北帝国大学事務文書 1 小川理科大学長宛て文書	1911.5.8	W325 H240	文書	
131	東北帝国大学事務文書 2 小川理科大学長宛て文書 第 271 号	1911.5.8	W325 H240	文書	
132	東北帝国大学事務文書 3 小川理科大学長宛て文書 第 273 号	1911.5.8	W325 H240	文書	
133	小川新太郎東北帝国大学理学部 学修簿	1923	W194 H130 D4	冊子	
134	小川手紙 1 嘉宛て		W180 H245	書状	
135	小川手紙 2 壺井より		W380 H160	書状	
136	小川手紙 3 壺井より 9 月 1 日		W780 H160	書状	
137	小川手紙 4		W83 H175	書状	
138	手紙		W400 H170	書状	
139	小川正孝パリからの絵葉書 組緒宛	1906.7.26	W90 H137	書状	
140	小川ます 領収書 5 月 29 日		W88 H135	紙片	
141	小川ます 領収書 12 月 12 日		W85 H134	紙片	
142	小川ます 領収書 11 月 16 日		W194 H180	紙片	
143	小川ます 領収書 5 月 11 日		W123 H138	紙片	
144	履歴書 紙片	1907 から 1911 の間	W370 H180	紙片	
145	辞令保存使用のノート片		W415 H270	紙片	
146	誉遇花影	1897.8.22	W190 H270 D4	冊子	
147	大日本教育界会員章贈与証状	1893.7.2	W355 H257	書状	
148	四條暁神社寄付感謝状	1892.5.13	W280 H220	書状	
149	静岡県火災復興寄付感謝状	1893.3.21	W308 H227	書状	
150	観菊会招待状	1907.1.14	W161 H210 D4	書状	
151	斎藤報恩会感謝状	1930.7.31	W70 (900) H200	書状	
152	根岸家家系図	1989.5.10	W210 H297	紙片	

番号	資料名	資料年月日	サイズ [mm]	分類	備考
153	明治十一年小川家支配緒控	1878	W140 H210 D10	冊子	M11.10 ～ M14.7 出納記録
154	明治十四年九月起金銭出入帳 小川氏	1881	W160 H120 D5	冊子	M14.9 ～ M18.7 出納記録
155	明治十八年九月ヨリ金銭出入帳 小川氏	1885	W126 H174 D8	冊子	M18 ～ M19 出納記録
156	明治廿四年一月以降 日記	1891 から 1894	W110 H155 D8	冊子	M24 ～ M27 出納記録
157	明治二十九年七月六日年中紀おぼえがき	1896.7.6	W175 H250 D2	冊子	
158	明治二十九年七月廿八日石州流切紙六段口 梗間書 清流軒 小川嘉子	1896.7.28	W175 H250 D2	冊子	
159	小川死亡診断書	1930.5.11	W172 H260	紙片	
160	小川死亡診断書	1930.5.11	W172 H260	紙片	
161	小川死亡届	1930.5.15	W165 H245	紙片	
162	小川墓請求書	1931.7.2	W650 H182	紙片	
163	小川墓内金領収書	1931.4.1	W195 H134	紙片	
164	小川墓残金領収書	1931.7.11	W195 H135	紙片	
165	小川墓見積書	1931.3.28	W180 H260	冊子	
166	御香奠申受帳 小川家 2冊 1組	1930.7.14	W390 H140	冊子	
167	御香奠申受帳	1930.7.14	W390 H140	冊子	
168	小川正孝本名記載紙片		W380 H270	紙片	
169	小川正弘 家族申告文書	1872.8.14	W403 H275	紙片	
170	小川正弘 家族構成申告文書	1872.8.14	W398 H275	紙片	
171	小川正弘 小川家生年月日一覧		W403 H275	紙片	
172	小川正弘 妹萬寿申告 戸長あて文書	1872.10	W398 H275	紙片	
173	小川嘉歌本 八雲琴歌		W170 H123 D5	冊子	歌本
174	竹生鶴		W165 H240 D3	冊子	
175	風呂炉薄茶濃茶点方 小川氏		W170 H250 D6	冊子	
176	小川喜三郎宛 本岡甚八 書状 11月6日		W90 H243	書状	
177	小川正弘宛 吉田勇之進政民 書状		W480 H350	書状	
178	小川家 幼少期学習帳?		W170 H130	冊子	
179	小川家 松山藩関連名簿		W170 H82 D5	冊子	
180	御改正諸御規則	1870.10.16	W145 H200 D3	冊子	松山藩規則集
181	諸名抄		W200 H135 D8	冊子	名称の書き並べ 学習帳?
182	城制図解		W170 H250 D12	冊子	城の構造の教科書 正弘印有
183	平庭之心得		W180 H142 D3	冊子	
184	秘事録 松山城と松山藩の地勢		W200 H140 D9	冊子	
185	古冊子 食事の作り方や寺院の一覧など諸々の記載		W170 H125 D6	冊子	小川右門記載
186	心ノ均一ナル利益		W340 H250	紙片	
187	諸控	文政から天 保年間につ いて記載	W120 H170 D12	冊子	
188	真貫流伝書 合巻	1815.2.26	W200 H256 D2	冊子	しんぬき秘伝、小川右門
189	兵法奥義書 小川右門		W200 H260 D8	冊子	元立之巻、人利之巻、地利之 巻、天利之巻
190	兵法伝記	1813.10	W80 H180 D15 (W9020)	冊子	蛇腹状
191	百家系伝		W170 H240 D3	冊子	剣の流派の系図と流派一覧
192	冊子はずれ紙片 10枚 武家諸法度など	文化年間	W170 H115	紙片	
193	体用相応之巻	1837.1	73 φ H230 (W18185)	巻物	植物の取り扱い
194	可秘 御続書	1793	W215 H160	冊子	
195	久松家略御家系	1766.8	W172 H247 D4	冊子	



写真1

小川東京予備門時代(本学第二級)の寄宿舎の同室(七号五番室)の友人との写真。上段左から城野春太郎(愛知), 小川正孝(愛媛), 高槻純之助(三重), 沢辺昌磨(大坂), 下段左から廣瀬吉郎(大阪), 松岡萬次郎(大阪), 常松英吉(岐阜), 杉浦吉太郎(埼玉)。明治17年6月22日撮影。城野だけ1学年上で他のものは同級だった。



写真2

小川が帝国大学大学院1年目の春に撮影した写真。おば様とは松山在住の父正弘の妹、萬寿を指す。